



南二小だより 4月号

学校教育目標『かしこく やさしく たくましく』

令和4年 4月8日

大阪狭山市立南第二小学校



新年度を迎えて

校長 西川 理嘉

桜は散り始めていますが、たくさんの花々が色とりどりに咲き、春の陽気の中、さわやかな香りを届けてくれています。

新学年、新学期を迎え、子どもたちの輝く瞳に出会えたことをうれしく思っています。やはり学校は子どもたちがいてこそだと実感しました。



4月6日（水）には暖かな春の陽の中、入学式を行い、82名の新入生を迎えました。昨年度同様、新入生と保護者のみの式でしたが、今年は大阪狭山市教育委員会より山田順久様にご臨席いただいて、直接お祝いの言葉をいただきました。新1年生は、どの子どもも緊張した面持ちでしたが、とても行儀よく、しっかりとお話を聞くことができ、問いかけには返事も返してくれました。私のお話では、「となりのたぬき」というお話を読み、お友達に自分から優しく接すること、まずは「おはよう」のあいさつをして仲良く過ごしてほしいことを伝えました。子どもたちが安心して笑顔で学校に通うことのできるよう、職員も心を新たにしたい一日でした。

始業式では、「くーたんの がっこうっていいな」というお話を通して、ものごとをポジティブにとらえ、楽しい学校生活を送ってほしいと伝えました。お話の中に、学校が嫌だなあと思っている男の子が「学校行ったら、毎日宿題だされるんだよ。」と嘆いていると、くまのくーたんが「いいなあ、宿題やったらママにほめてもらえそうだなあ。」と言いました。このようにくまのくーたんは、ものごとをなんでもポジティブにとらえ、楽しく過ごすことを教えてくれます。宿題をすることは、私たち大人にとっては当たり前のことかもしれませんが、子どもたちにとってはまだまだ大変なことです。ぜひお家でも、自分で宿題をしていたら、まずはうーんとほめてあげてください。ほめることでやる気を出したり、認めてもらえたことで自己肯定感を高めたりします。学校でも、一人一人を見守りながら、成長を助けていきたいと思っています。

保護者の皆さま、地域の皆さまには今年度も変わらぬご支援ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。